

船舶事故調査報告書

令和2年6月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	令和2年1月24日 07時15分ごろ
発生場所	沖縄県久米島町兼城港南西方沖 兼城港第1号灯標から真方位292°900m付近 (概位 北緯26°19.9′ 東経126°44.8′)
事故の概要	漁船おさむ丸は、航行中、干出岩に乗り揚げた。
事故調査の経過	令和2年1月27日、主管調査官（那覇事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	漁船 おさむ丸、2.66トン
船舶番号、船舶所有者等	ON3-35695（漁船登録番号）、個人所有 第296-25915号（船舶検査済票の番号）
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	右舷中央部船底外板に破口、プロペラ翼及び舵板に曲損
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西北西、風速 約1m/s、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 高潮時
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、久米島町儀間漁港を出港して手動操舵で西進し、掘下げ水路を通過して少し右舵を取った後、船長が、締付けした船尾管軸封装置のグランドパッキングが気になり、舵輪から手を離して操舵スタンド下部の窓から機関室を確認していたところ、右舵が取られて航行し、干出岩に乗り揚げた。 本船の喫水は、船首約0.4m、船尾約0.8mであった。
分析	本船は、西進中、船長が、手動操舵で舵輪から手を離して機関室内を確認していた際、右舵が取られた状態で航行したことから、干出岩に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が西進中、船長が、手動操舵で舵輪から手を離して機関室内を確認していた際、右舵が取られた状態で航行したため、干出岩に乗り揚げたものと考えられる。
再発防止策	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・機関室等を確認する場合は、停止してから行うこと。